

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名						
疾病と傷害8						
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験	
柔道整復学科・夜間部	2年	3期	林 一徳		○	
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数
専門基礎分野	疾病と傷害			座学	1	10
科目概要						
整形外科の取り扱う疾患はどんなものがあるか、それらを診断、治療するにはどんな基礎的知識(診察法・検査法・治療法)が必要かを明らかにし教授する。						
目標						
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標		柔道整復師として、臨床の場で活躍できるように、整形外科の基礎(解剖学・生理学)再確認。運動器の基礎知識、整形外科診察法、整形外科検査法、整形外科的治療法、骨・関節損傷総論の知識を習得する。				
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)		以下の項目について理解し、複数の選択肢の中から正しい答えを選択することができる。 1. 整形外科的用語について。 2. 基礎的な病態と治療法等について。 3. 運動器の基礎知識について。 4. 各種検査法、診察法等について。 5. レントゲンによる診断を正しく判断できる視覚について。				
履修に必要な予備知識や技能						
解剖学・生理学の復習						
教科書・参考書						
柔道整復師学校協会監修「整形外科学」改訂第4版						
受講上の注意						
授業中の雰囲気乱さない。トイレに立つのは断り不要。						
成績評価方法						
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他 (合計)
評価割合(%)	100					100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物	
第1回	単純レントゲン写真(正常篇)・骨の基礎知識			p.3~10	教科書 筆記用具	
第2回	関節の基礎知識・筋、靭帯、腱の基礎知識、診察法			P.11~21	教科書 筆記用具	
第3回	整形外科検査法(姿勢、体幹四肢バランス、跛行etc)			P.23~33	教科書 筆記用具	
第4回	視覚授業、整形外科検査法・治療法			P.34~46	教科書 筆記用具	
第5回	整形外科治療法			P.46~54	教科書 筆記用具	
第6回	整形外科骨折総論			P.55~65	教科書 筆記用具	
第7回	整形外科骨折総論			P.65~71	教科書 筆記用具	
第8回	スポーツ整形外科総論, 視覚授業			P.73~78	教科書 筆記用具	
第9回	リハビリテーション総論, 視覚授業			P.79~83	教科書 筆記用具	
第10回	定期試験				筆記用具	
実務経験と本講義との関連について						
1980年、医学部卒業後、大学病院、市中病院勤務後、現在は、診療所院長として整形外科・リハビリテーション科を中心に診療している。39年間の臨床研究経験をもとに整形外科の知識を教授する。						
メールアドレス						
質問等は授業後に対応						